

平成29年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果

調査対象 第5学年児童



調査内容

- ①体格に関する調査…○身長 ○体重
- ②実技に関する調査…○握力 ○上体起こし ○長座体前屈 ○反復横跳び ○20mシャトルラン
○50m走 ○立ち幅跳び ○ソフトボール投げ
- ③質問紙調査…○生活習慣 ○食習慣 ○運動習慣
- ④学校に対する質問紙調査…○体育的行事の実施状況 ○屋外運動場の状況 ○外部指導者の導入状況

調査結果の概観

- ①体格に関する調査
 - ・男子は身長・体重とも全国・全道平均を下回っています。肥満傾向児の割合が全国・全道の平均よりも低く、正常域の割合が大きく上回っています。軽度の割合が全国・全道平均を上回っています。
 - ・女子は身長・体重とも全国・全道平均を上回っています。肥満傾向児の割合が全国・全道の平均よりも高くなっています。ただし、軽度肥満がいるだけで、高度・中程度はいません。
- ②実技に関する調査
 - ・男子は体力合計点で全国・全道平均をやや上回っています。
 - ・男子は「握力」「長座体前屈」「反復横とび」が全国・全道平均を上回っており、筋力や柔軟性、瞬発力について高い結果となっています。
 - ・女子は体力合計点で全国平均を下回りましたが、全道平均より上回っています
 - ・女子は「握力」「長座体前屈」で全国・全道平均を上回っており、筋力や柔軟性について高い結果となっています。
 - ・男女ともに「ソフトボール投げ」、男子においては「立ち幅跳び」が全国・全道平均を大きく下回っています。
- ③質問紙調査の概要
 - ・男女ともに運動に対する意識が低いですが、男子の1週間の総運動時間が全国・全道平均より高い結果となっています。
 - ・男女ともに「体力に自信がある」と考えている児童が全国・全道平均よりも低くなっています。
 - ・女子は「体力に自信がある」と考えている児童が全国・全道平均よりも低くなっています。
 - ・「朝食を毎日食べる」「食べない日もある」と答えている児童が、男子は全国・全道平均よりも高く、女子は低くなっています。ただし、「食べない」という児童はいません。

今後に向けて

- 男女ともに力強さ、動きを持続する能力に大きな課題が見られます。ボール運動や走る運動などで持久力を高める必要があります。また、規則正しい生活の推進や食事、睡眠などの生活習慣の改善を図るために、学校と家庭・地域が一体となって取り組みを進める必要があります。